



令和7年1月24日発行
東京都立高島特別支援学校
校長 石川 拓
担当 キャリア支援部(桑野)



◎本校で取り組んでいる「副籍交流」についてお知らせします◎

◇令和6年度活動報告について



今年度は、129名の児童生徒が副籍交流を行いました。(※令和6年度副籍交流実施状況の表をご覧ください。)

当該児童・生徒が地域指定校(地域の小・中学校)の授業や学校行事に参加する「直接的な交流(直接交流)」では、朝の会や帰りの会、学級レクなどの学級活動、音楽や体育などの授業に参加したり、校内展覧会に当該児童・生徒の作品を出品したりと有意義な交流を行うことができました。

直接交流を初めて行う児童・生徒については、地域指定校の交流学級に対して「出前授業」も行いました。交流学級の皆さんに本校のことや交流を行う当該児童・生徒のことを知ってもらう良い機会となっています。

また、学校便りや学級便りの交換などを中心とした「間接的な交流(間接交流)」では、学校間でのお便り交換(間接交流I)だけではなく、当該児童・生徒が放課後に地域指定校の教職員にお便りを届けに行く取組(間接交流II)も行っています。これらのお便り交換は、互いの学校・学級の様子等を知り合うための有効な手段の一つとなっています。

地域指定校から届いたお便りは、本校の職員室(本校舎1階)前の掲示板に掲示してありますので、来校された際はぜひご覧ください。

来年度も、副籍交流を通じて居住する地域の同年齢の児童・生徒との交流の機会を進め、お互いの相互理解につなげられるように、本校と地域の小・中学校、そして保護者の皆様とで共に計画していきたいと思っております。

※令和6年度 副籍交流実施状況(各区ごと)

板橋区	小学部	中学部	合計
直接交流	42	3	45
間接I	20	6	26
間接II	9	0	9

練馬区	小学部	中学部	合計
直接交流	18	6	24
間接I	18	2	20
間接II	4	1	5

◇令和7年度「副籍制度を活用した交流の希望調査」について



ご協力、お願いいたします!

本日のさくら連絡網にて、来年度(令和7年度)の副籍交流の希望調査を送信いたしました。さくら連絡網に添付した資料をご確認の上、本調査への回答をお願いいたします。

※回答方法→さくら連絡網にて回答をお願いします。 ※回答期限→令和7年2月3日(月)

なお、来年度の希望調査より、希望される交流内容の選択肢の中に「交流は行わず、籍のみ置く」という選択肢を加えることといたしました。これは、東京都教育委員会より副籍制度に関する基本事項として、「都立特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒の地域とのつながりを維持・継続するため、平成27年度入学生からは、原則として全ての児童・生徒が居住する地域の区市町村立小・中学校(地域指定校)に「副次的な籍(副籍)」をもつ。」としているためです。

副籍制度の趣旨をご理解の上、本調査への回答をお願いいたします。

◇令和6年度「副籍を語る会」について



ぜひ、ご参加ください!

令和7年2月5日(水)11時15分から12時15分まで、本校会議室にて「副籍を語る会」を開催します。

今年度の副籍交流の活動や、以前、保護者の皆様アンケートのご協力をいただいた「令和6年度副籍制度の充実による交流活動の推進事業」について報告し、板橋区と練馬区の主任児童委員の方々をお招きして副籍交流(直接交流)への同行の意義などをお話いただく予定です。今後の副籍交流の在り方や、副籍交流を通して地域との関わりを深めていくために必要なことなどについて考える機会にしたいと考えています。こちらは、12月23日(月)付のさくら連絡網にて案内を送らせていただいておりますので、事前に申込みの上、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。